

□ 平林地域まちづくり計画

1. 平林地域の現状

平林地域は、平林小学校区の松沢、小岩内、川部、湯ノ沢、葛籠山、平林、宿田の7集落からなり、人口1,719人、世帯数572戸（令和3年1月1日住民基本台帳）の神林地区内では2番目に人口の多い地域です。

南に日本一の「清流荒川」を抱き、東に推定樹齢850年の巨大姥杉が生育している薬師岳があり、古くから信仰の対象となってきました。

また、この地域には、歴史的資源が多く、最も代表的なのは、国指定平林城跡と市の文化財に指定されている千眼寺の保呂羽堂があります。各集落では、伝統芸能が盛んで川部の大神楽（市の無形文化財指定）、小岩内の獅子舞、松沢獅子舞、宿田の剣舞など、何世代にもわたり、大切に継承されてきました。

村上市では、小学校の再編により令和2年3月末で平林小学校が閉校し、4月より旧砂山小学校が新「平林小学校」として開校されました。

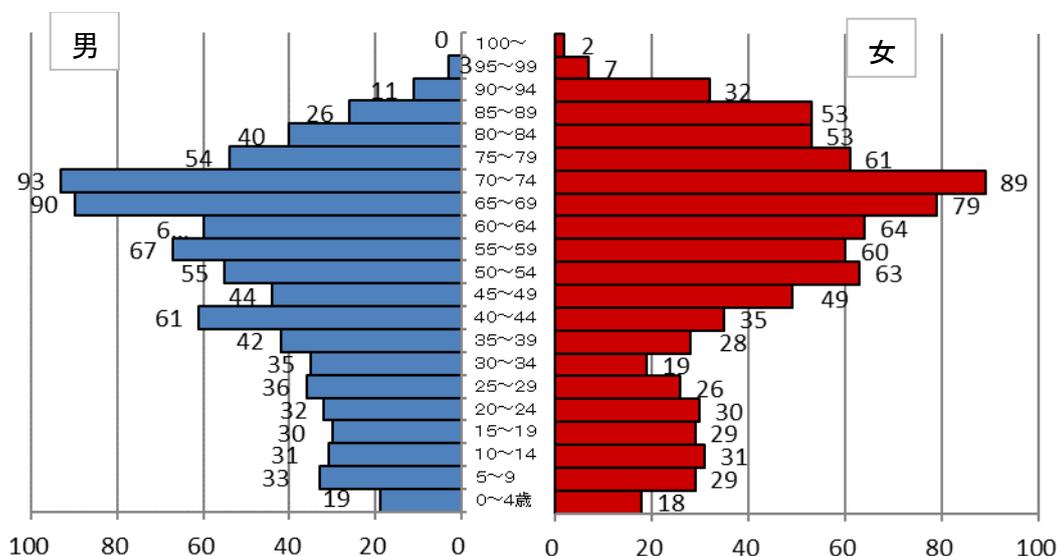
平成29年度に行われた住民アンケート調査では、この地域に住み続けたい、愛着があると答えた人が約6割で、これまでの活動が地域への誇りや愛着につながっていることが確認できました。しかし、世代別・男女別による住民ニーズや地域の課題が改めて浮き彫りとなり、今後さらなる人口減少と高齢化が見込まれる中、新たな取り組みとして関係人口の創出・拡大など時代に合った変化への対応が求められています。

【平林地域：男女年齢別集計表】

平林地域	男子	女子	合計	割合
人口	862	857	1,719	100.00%
15歳未満	83	78	161	9.40%
15歳～64歳	462	403	865	50.3%
65歳以上	317	376	693	40.3%
【参考】うち75歳以上	134	208	342	-
【参考】うち85歳以上	40	94	134	-

平林地域全体

令和3年1月1日現在：市統計資料



地域の将来像

自然と文化、ひとがかがやく支えあいの平林

- 豊かな自然環境を維持し文化を育む郷さと
 - ・清流荒川や国史跡平林城跡をはじめとした地域資源や自然環境の維持整備
 - ・平林地域の伝統や文化への理解を深め、次世代への継承を支援
- 一人ひとりの良さをいかした安心で活力ある郷さと
 - ・地域基盤の整備と住民への参画を促す情報発信
 - ・地域の課題解決と住民交流を推進することと、そのための基盤づくり
 - ・地域産業、コミュニティビジネスの発掘、開発
 - ・関係人口創出・拡大
 - ・災害時の避難対応
- 笑顔いっぱい、支えあう元気な郷さと
 - ・心と体の健康づくり
 - ・生活弱者を支える仕組みづくり
 - ・子どもたちとの触れ合い
 - ・ボランティア養成
 - ・敬老会の実施

事業計画年度(実施年度:令和3年度～令和5年度)

基本方針	事業項目	実施年度			備考
		3	4	5	
豊かな自然環境を維持し文化を育む郷	環境整備事業	▶			
	地域資源の発掘と活用	▶			
	伝統文化を守り受け継ぐ取り組み	▶			
一人ひとりの良さをいかした安心で活力ある郷	交流事業の実施	▶			
	地域の課題解決のための基盤整備と人材育成	▶			コミュニティ支援を含む
	関係人口創出・拡大	▶			
笑顔いっぱい、支えあう元気な郷	健康づくり	▶			
	ささえあいの地域づくり	▶			
	学校連携事業	▶			砂山地域まちづくり協議会と協力

※いずれの事業も集落、他団体と連携して取り組む。

※小学校再編に伴う今後のまちづくり協議会のあり方について研究していきます。